



日本原子力学会・炉物理部会

石
7.5.12
川

炉物理部会ニュース (No. 2)

1995年5月1日発行

目次

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 平成7年度炉物理部会運営委員の紹介 | 1 |
| 2. 第3回「炉物理部会」総会報告 | 1 |
| 3. 「第27回炉物理夏期セミナー」の案内 | 3 |

1. 平成7年度炉物理部会運営委員の紹介

平成7年度運営委員候補者を予め部会員に周知し信任投票をする事が、準備が遅れたために総会前にできなかった。そこで第3回炉物理部会総会〔日本原子力学会春の大会('95.3.29)於東工大〕で候補者を示し、席上承認を頂くという簡略化したやり方を実施した。承認を頂いた平成7年度の運営委員は以下の方々である。括弧内は任期を示す。

部会長	(1年)	名大・工	仁科浩二郎	セミナー小委員会	
副部会長	(2年)	原研	土橋敬一郎	(1年)	阪大・工
庶務幹事	(1年)	東北大・工	平川直弘	(1年)	阪大・工
財務小委員会				学術研究交流小委員会	北田孝典
	(1年)	日立	内川貞夫	(1年)	原研
	(2年)	近大炉	大沢孝明	(1年)	阪大・工
編集小委員会				学生・若手小委員会	土橋敬一郎
	(1年)	東芝	山本宗也	(1年)	京大炉
	(2年)	原研	森 貴正	(2年)	原研
					宇根崎博信
					安藤真樹

2. 第3回「炉物理部会」総会報告

第3回炉物理部会総会(於 東工大, '95.3.29)が仁科部会長の司会で進められた。当日の議事・報告のうち主なものを以下にまとめた。

1. 財務小委員会（関本 博(東工大)）

平成6年度の会計報告があった。収入は前年度繰越 2,377,473円、平成6年度収入 783,672円で合計 3,161,145円であった。収入には第26回夏期セミナーの残金約44万円が含まれている。これに対して支出総額は 126,145円で、来年度に 3,035,000円（吉橋基金1,827,942円を含む）の繰越となった。但し、部会報「炉物理の研究」の発刊が予定されており、これに約16万円の支出が見込まれる。

部会設立元年にしては、やや活動が低調であったことが支出面にも現れている。

2. 編集小委員会（山本宗也(東芝)）

部会報「炉物理の研究」の原稿依頼を各機関へしたが、回収率が悪いので編集作業が遅れ気味である。締め切りを延ばすので、是非投稿して欲しい。5月末までには発行したい。

3. セミナーアイデア小委員会（竹田敏一(阪大)）

第27回炉物理夏期セミナーの企画案の紹介があった。

- ・日時： 7/24（月）～7/26（水）
- ・場所： 比叡山
- ・テーマ： 「次世代の炉物理」
- ・定員： 60名
- ・費用： 8,800円程度。

今回も時機を得たトピックス的な企画が中心であるが、炉物理の基礎を若手がじっくり勉強できるようなテーマを加えてはとの意見が出された。時間的な関係で取り込めるか否か難しいが、検討する事になった。

（アカデミックと申込用紙をこのニュースに掲載）

4. 学術研究交流小委員会（土橋敬一郎(原研)）

PHYSOR'96の組織委員会が昨年10月に発足し、本年2月に企画・運営部会が開催されて体制が整った。今後の予定は次のようである。

- ・平成7年6～7月頃 First announcement
- ・平成8年1月 Abstract締切

・平成8年5～6月頃 Full paper締切
多数の方々の論文投稿をお願いしたいので、今から心づもりをしておいて欲しい。

5. 学生・若手小委員会（小原 徹(東工大)）

ネットワーク・ニュースを昨年12月より開始した。現在12機関38名の登録があり、1月から3月の間に3号まで出した。企業関係者の参加を増やし、研究状況の紹介などを通して、新しい炉物理の発見に役立てたらと考えている。多数の参加をお願いしたい。（原子力学会誌 Vol. 37(3), p. 212(1995)に関連記事あり）

6. 学会委員会からの報告とアンケート

①学会企画委員会（平川直弘(東北大・工)）

オープンスクールをより一般に開かれた形にするための企画が練られている。例えば今回からスポンサー付になった。今後は開催地に近い大学・研究機関のみの参加や、各部会の協力が検討されている。

企画委員の改選において、来年度からは「同一機関からは同じ分野の委員を推薦しない」内規を適用することになる。

②学会編集委員会（関本 博(東工大)）

英文誌の英語の質を高めるための方策を検討している。意味が通じればよいと言うだけでは、学会の顔としての英文誌の品位が問われることになる。予算的裏付けのない状態では思い切った改革は難しいが、検討している。

英文誌が従来の論文中心の掲載から、

- AESJ Calendar • Meeting Report
 - Research Activity in Japan • Memorandum
- を新設し、海外への情報発信の機能を持たせる編集に変更されたので、是非活用して欲しい。

（詳しくは、原子力学会誌Vol. 37(3), p. 249 (1995)を参照）。

企画委員会と同様に、同一機関の委員に偏る傾向を減らすような改選方法を検討している。

3. 「第27回炉物理夏期セミナー」の案内

第27回炉物理夏期セミナープログラム

テーマ：次世代の炉物理

日時： 1995年7月24日（月）～26日（水）

場所： 比叡山 本館 大広間 ホウコウの間 （宿坊：延暦寺会館）

滋賀県大津市坂本本町比叡山

（J R 京都・京阪三条・京阪出町柳の各駅よりバスで約1時間、

J R 比叡山坂本駅・京阪坂本駅より徒歩（またはバス）とケーブル）

第1日目<7月24日（月）>

-参加登録受付- 12:00～

開校式（13:00～） 13:15～17:00

1. 「もんじゅ」炉物理試験と計算の高度化
(P N C) 中島文明

2. 連続エネルギーモンテカルロコードM V P
の開発と利用 (原研) 中川正幸

懇親会（18:00～）

第2日目<7月25日（火）> 9:00～17:00

3. 次世代炉とその炉物理
(京大炉) 神田啓治

4. 炉物理に関連する電力ニーズ
(東電) 姉川尚史

5. PWRにおける燃料装荷パターンの最適化
(原燃工) 山本章夫

6. 軽水炉におけるT R U・F P 消滅
6-1. BWR炉心によるMAリサイクル消滅処理
(日立) 青山肇男

6-2. BWRにおけるMA消滅の検討

(東芝) 肥田和毅

6-3. PWRを用いたMAリサイクルの検討
(N E L) 森 正明

7. 自ら整合性を有する原子力システム
(東工大) 関本 博

若手研究者発表会（19:30～）

第3日目<7月26日（水）> 9:00～11:00

8. 高速炉におけるMA変換・消滅
(原研) 高野秀機

9. 高速炉におけるT R U利用とF P消滅
(東芝) 川島正俊

閉校式(11:00～)

-解散-

参加費：炉物理部会員4000円、学会正会員6000円、学会非会員8000円、

学生部会員 1000円、学生学会員2000円、学生非会員3000円

料金代： 2000円

宿泊費： 8000円(1泊2食付)

懇親会費： 2000円(7月24日)

申込締切： 6月23日（金）（定員60名、先着順）

申込方法：次ページの参加申込用紙をコピーしてご利用下さい。

第27回炉物理夏期セミナー参加申込書

(コピーしてご利用下さい)

1. 氏名 _____

2. 所属・職名 _____

3. 連絡先 住所 〒_____

電話 (_____) _____ - _____

FAX (_____) _____ - _____

4. 参加予定（該当するものの□内に○印をして、合計金額を計算して下さい）

参加費 炉物理部会員 4000円 _____ 円

学会正会員 6000円 _____ 円

学会非会員 8000円 _____ 円

学生部会員 1000円 _____ 円

学生学会員 2000円 _____ 円

学生非会員 3000円 _____ 円

テキスト 2000円 _____ 円

宿泊費 7月24日 8000円 _____ 円

7月25日 8000円 _____ 円

懇親会 7月24日 2000円 _____ 円

昼食 7月25日 800円 _____ 円

合計 _____ 円

註) 宿泊費は1泊2食付の料金です。

◎申し込みは6月23日(金)迄に郵送またはFAXにて下記宛お送り下さい。

〒565 吹田市山田丘2-1 大阪大学工学部原子力工学科

炉物理夏期セミナー事務局 竹田敏一

(TEL 06-879-7900 ; FAX 06-875-5696)

◎参加費等は前金でお願いします。申込用紙が到着し、入金を確認して登録させて頂きます。

送金先は以下の通りです。

銀行の場合 住友銀行豊中支店 口座番号 1627257

炉物理夏期セミナー事務局 竹田敏一

郵便局の場合 郵便振替払込 口座番号 00980-5-40734

加入者名 炉物理夏期セミナー事務局